



Plan Do Check Action

「前向きにチャレンジ!!」

朝日町保小中一貫教育校

朝日町立朝日中学校

校長 川 田 彰

生成AI（ジェネレーティブAI）は、世界中の教育分野において既に多様な形で活用されています。これには、学習教材の作成、個別指導の提供、パーソナライズ学習の支援が含まれます。急速に成長しているこの技術は、国際的な教育環境を再構築し、顕著な成果を上げています。

今年度、文部科学省の「リーディングDXスクール事業」において、朝日町の小中学校が1人1台端末とクラウド環境の活用に加え、生成AIの活用にも焦点を当てる「生成AIパイロット校」に選ばれました。これにより、校務や授業における実用化を目指した研究を行うことになりました。私たちが、この研究を進める上で、まず何が必要なのでしょうか。

現在、教育の目標としては、知識・技能を身に付けるだけでなく、創造性や批判的思考、社会性、革新等の能力を育成することが挙げられています。急速に進歩するテクノロジー時代において、これらのスキルを強化するツールの習得が不可欠です。つまり、私たちは、まず教育における生成AIの必要性を認識することが重要です。

次に、生成AIの特徴を知ることが大切です。生成AIは、教育現場において、教師の役割の変化、学習方法の多様化、評価システムの進化をもたらします。AI技術の進化によって、教育プログラムは個別化され、より効率的な学習が可能になります。また、教育コンテンツのカスタマイズだけでなく、子供たちの行動パターンや理解度を分析し、最適な学習方法を提供できます。そして、校務における生成AIの活用では、教育プロセスの自動化により、教師の負担が軽減され、より創造的で価値の高い教育活動に集中できるようになります。その一方、デメリットとして「信憑性の有無」「自己学習能力や思考力の低下」「プライバシーの侵害やデータ漏洩のリスク」が懸念され、使用する際に適切な対応が必要であることを理解しておかなければなりません。

さらに、私たちは、教師の役割に対する意識を大きく変える必要があります。生成AIが基本的な教育内容の提供や学習進捗の管理を担う一方で、私たちはガイドやファシリテーターの役割として、子供たちの批判的思考、創造性、問題解決能力の育成に注力することが重要です。つまり、知識の単なる伝達から、深い理解と応用能力の育成へとシフトする必要があります。

この生成AIの教育研究は、日本の教育において実践が少なく、効果を証明する事例が不足している現状があります。しかし、予測困難な時代の中、これから生きる子供に必要とされる資質・能力を育む教育への大きな一歩になると確信しています。我が国を担う子供たちを育むために、この未知なる生成AIの研究に町内全教職員で前向きにチャレンジしていこうではありませんか。



Learning is fun! 子供とともに

今年度、たくさんの方が朝日町に着任されました。どうぞよろしくお願いたします。

「毎日の楽しみ」

あさひ野小学校 教頭 坂口 薫

あさひ野小学校に着任して数か月が経過した現在、私には毎日の楽しみが3つあります。1つ目は、玄関先から景色を眺めることです。朝一番に児童玄関の扉を開けると眼前に広がる、壮大で緑豊かな山々の景色に癒やされています。2つ目は、子供たちと触れ合うことです。子供たちと挨拶をしたり話をしたりするのが楽しく、私の元気の源となっています。3つ目は、子供たちや教職員、保護者、地域の方々の笑顔を見ることです。笑顔は私の活力となり、「また明日も頑張るぞ」という気持ちになります。



これからもみんなが笑顔で過ごせるよう、先生方や保護者、教育委員会、地域の皆様と連携し、尽力していきたいと思っております。

「朝日町の教員として」

朝日中学校 教諭 澤田 緑

南保富士、大鷲山等の大好きな山がたくさんある朝日町に勤務することができてとてもうれしく思っています。学校から見える馬鬣山や南保富士、少し遠くに見える朝日岳は、天気によって異なる姿を見せるので、その姿から私は毎日元気をもらっています。

保小中一貫教育の取組では、週に1度、さみさと小学校とあさひ野小学校の6年生の音楽科の授業を支援しています。音楽を表現したり味わったりする子供たちの姿は異なりますが、霞のかかった山の姿も素敵のように、それぞれの子供たちのよさを改めて感じています。そのときどきの子供たちの気持ちに寄り添い、静かに音楽と関わることも認めながら、豊かな心を育ていけるよう精一杯努めていきたいと思っております。



「朝日町に着任して」

あさひ野小学校 養護教諭 長島美央

小学校6年生の時の「小学校の保健室の先生になりたい」という夢が叶い、縁あって朝日町で働く機会をいただきました。



4月からあっという間に2か月がたちました。いろいろなアイデアを出し合って積極的に行っている委員会活動や上学年が1年生をよく見て、ちょっと力を貸している縦割り給食に感心しています。また、元気いっぱいあいさつをしてくれたり、いろいろな出来事を教えてくれたり、おもしろい質問をしてくれたり子供たちに笑顔にしてもらっている毎日です。

バタバタと慌ただしい日もありますが、子供たちの成長を近くで見守ることができる楽しさやうれしさを感じています。これからも子供たちが元気に学校生活を送ることができるよう努めていきます。

「朝日町の教員として」

さみさと小学校 教諭 森野あかり

私は小学校の頃、分からないことが分かるようになる楽しさや、できないことができるようになる喜びを知り、学校生活を通して学ぶ楽しさを教えることができる先生になるために、小学校教員を目指しました。4月に私の母校である朝日町立さみさと小学校に着任し、教員という立場で恩返しができることを嬉しく思っています。2年2組の担任となり、右も左も分からない状態でとても不安でしたが、先輩方から指導や助言をいただき、徐々に仕事に慣れてきました。これからは、先輩方の授業や子供への関わり方を見たり自分



分で試行錯誤したりしながら、様々なことに挑戦し、成長していきたいです。

「朝日中学校の教員として」

朝日中学校 教諭 太田 幹人

朝日中学校に着任して早2か月。毎日の通勤で富山湾や立山連峰を眺めるたびに、富山の教員になったことを実感しています。学校では授業づくりや校務等やることが多く大変ですが、優しい先輩の先生方に支えられ、様々なことを学んでいます。



朝日中学校では、「一生懸命はかっこいい」のスローガンの下、生徒が自主的に学習や部活動に取り組んでいる姿が見られます。そういった生徒のよさを見付けるたびに、私自身も教員として生徒を支えられるように頑張ろうという気持ちになります。

私の教員としての目標は理科の教員として、生徒が「理科を学びたい」と思えるようなワクワクする授業づくりをすることです。そのために、教材研究や授業の導入の工夫等の指導方法を学んでいきたいと思っています。

「教員になって」

あさひ野小学校 教諭 山口 季記

新規採用教員としてあさひ野小学校に着任して2か月が過ぎました。上市町出身の私にとって、朝日町で過ごす時間はどれも新鮮であり、刺激の多い日々です。

私は、人と関わる仕事がしたいと思い、教員を志しました。大切にしたいことは、一人一人の個性を尊重するという事です。私自身学生時代に、認められたり明るい気持ちになる言葉を受けたりしたことで、前向きになった経験がありました。この経験を今度は私が広げていきたいです。

日々の授業や学級事務など、まだまだ至らないことばかりですが、子供たちの姿に毎日



元気をもらっています。子供たちにとって学校生活が安心して楽しいものになるように励んでいきたいです。

「朝日町に着任して」

さみさと小学校 教諭 屋木 湧基

今年度さみさと小学校に着任しました屋木 湧基（やぎ ゆうき）と申します。私は生まれも育ちも入善町です。朝日町で初任者として仕事ができることをうれしく思います。



分からないことはありますが、先輩の先生方が温かく教えてくださっています。そのおかげでさみさと小学校で楽しく働くことができます。

子供たちと出会い、授業や学校行事等でたくさんの活動をしてきました。子供たちが積極的に学習や活動に取り組むことができるような学級を目指して日々取り組んでいます。これから、一教師として、子供たちが分かる、そして楽しく取り組むことができる授業に励み、私自身も子供たちと共に成長していきたいと思っています。

「朝日中学校での日々」

朝日中学校 教諭 中山 舞祐

4月から朝日中学校に着任して2か月が経ちました。桜の木の前でクラス写真を撮影したことが昨日のことのようで、月日が経つのは早いと感じています。

朝日中学校には、「みんなでジャンプ」という創校記念行事があり、クラス対抗で大縄跳びの回数を競います。生徒は本番の日を迎えるまでに自分たちで作戦を立て、目標を決めて練習し、お互いに声を掛け合って取り組んでいました。そういった生徒の素敵な姿を見るたびに、「自分がこの子たちにできることは何だろう」と考え、少しでも彼らの成長の手助けをできる存在になりたいと感じてい



ます。優しい言葉をかけてくださる先輩方からたくさんを学び、これから生かしていけるよう努力し続けたいです。

「地元 朝日町に着任して」
あさひ野小学校 教諭 深松 大

山梨県での大学生生活を終え、朝日町での教員生活が始まりました。私が教育に興味をもち、地元での教員を志したきっかけは、母校で自分が受けた教育が丁寧で、何より温かさを感じたからだと思います。また、一昨年度のさみさと小学校、昨年度の朝日中学校での教育実習で、子供たちと関わる充実感や教育の奥深さ、先生方の熱意を感じることができたこともきっかけの一つです。



地元に着任することは、貴重で嬉しいことです。担任する3学年では、社会科と総合的な学習の時間において朝日町について学ぶので、自分の知識と経験を生かして、子供たちに地元のよさを見つけてもらえるような授業をしたいです。

「朝日中学校の教員として」
朝日中学校 教諭 岡崎 翔太郎

4月に朝日中学校に着任してから、2か月が経とうとしています。毎日の授業や学級業務、校務分掌等、やるべきことが多く大変ですが、子供たちの笑顔と温かい先生方に支えられながら、毎日充実した日々を送っています。



5月中旬に行われた宿泊学習では、1年生の生徒一人一人が声をかけ合い、協力する姿が随所に見られ、入学してまだ1か月という短い間で、大きく成長する生徒たちに感動しました。また、生徒の成長の瞬間に立ち会えたことで、「教員になってよかった」と感じました。

朝日中学校には、「一生懸命はかっこいい」という合言葉のほかに、「一緒にやるから楽しい」という合言葉があるそうです。その言葉通り、生徒と学校生活を楽しみながら、共に悩み、成長していくことができる教員になれるよう、日々精進していきたいと思っています。

令和6年度魚津地区教育センター協議会の講演会予定

研修会名	期日	会場	内容
理科教育講座 (自然観察 入門コース)	7月30日(火) 9:30~	入善町	内容：自然観察に関する研修を行い、理科の指導力向上を図る 講師：富山県総合教育センター 科学情報部
授業力向上に 関する講演会	7月31日(水) 14:00~	うるおい館	演題：子どもと教師で「豊かに」学ぶ授業づくり (仮) 講師：東京学芸大学教育学部 准教授 大村 龍太郎 先生
生徒指導に 関する講演会	8月7日(水) 14:00~	うるおい館	演題：発達障害傾向の児童生徒に対する教育相談・生徒指導 講師：野々市市発達相談センター 専門相談員 西村 優紀美 先生

☆ お知らせ ☆

朝日町教育センター内にある「あすなろ」は、令和6年4月、「朝日町適応指導教室」から「朝日町教育支援センター」に名称変更しました。

発行：朝日町教育センター

〒939-0743

富山県下新川郡朝日町道下 1053-1

TEL/FAX (0765)83-0279

E-mail asahi-ec@tym.ed.jp

<https://center.asahischool.jp/>